☆☆☆ LIP in HIRAKATA

２０１０年　４月号

ＬＩＰ　(Local Information Paper)　とは……

枚方市民発の、福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの情報を掲載する地域密着型情報紙をめざします。

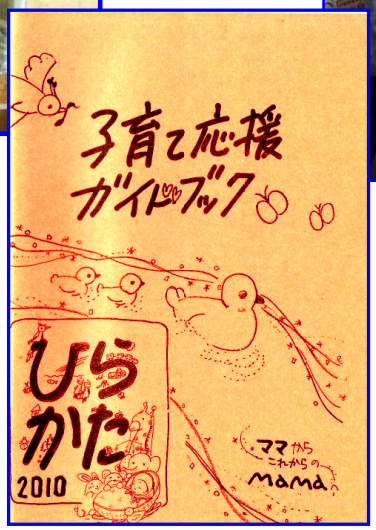
☆五行歌ひらかたミニ歌会メンバーの作品

疲れた心と体に
そよ風が話しかける　えみこ

元気を出しなよと
ポケットに入っている幸せの種を
一緒に数えようと

月がきれいって
「I love you」のことやって　ちえこ

へえ～
漱石さん
粋ななあ



- ［団体紹介］　五行歌ひらかたミニ歌会♪
- ［国際交流］　アフリカ　ルワンダの子どもたちから　絵のてがみ届きました♪
- ［子育て支援］　小冊子『子育て応援ガイドブック』発行♪
- ［編集局より］　ＬＩＰ２００９年度　活動の記録♪
- ［耳寄り情報］　京阪バス　１ｄａｙチケット、ご存知ですか♪
- ［枚方の「共に学び共に育つ」教育は今（4）］
  「子どもたちの中で育ち合うのが人間の基本♪」
- ［連載コラム］　かおりのひとりごと♪　「探そう」
- イベント／サークル情報　編集局より／ＬＩＰ配布場所／会計報告

「ＬＩＰ編集局」　http://www.love-dugong.net/lip/

連絡先
メールアドレス：lip@love-dugong.net
TEL：070-5653-6913(渡辺)　FAX：020-4665-8668
郵便振替口座　00920-8-120259（ＬＩＰ編集局）

五行のウタで、わたしを語り、世界をひらく

～五行歌（ごぎょうか）ひらかたミニ歌会～

五行歌って、なぁに？

五行歌（ごぎょうか）とは、五行に書く短い口語の詩。字数や季語などの制限はなく、誰でもすぐにつくれます。そんな五行歌を愛するメンバーが集まって、月一度「ミニ歌会」を開いています。メンバーは約十人、年齢は 40 代から 70 代です。当初女性ばかりでしたが、最近男性メンバーも一人二人と加わって、多彩な顔ぶれです。

きっかけは、「地元で何かやりたいね！」

ミニ歌会が始まったのは、約五年前。五行歌は全国組織の会があり、大阪や京都にもいくつか歌会があるのですが、休日や夜間に開催されるので、小さい子のいる私は参加できません。平日昼間に地元で何かできないかと考え、五行歌を作っている友人のちえこさんや子育て仲間に声をかけ、メセナひらかたで一時間の「ミニ講座」を開きました。そして、その時の作品等を、同館の「フロアー・フェスタ」で展示。半年後の９月から、ほぼ毎月「ミニ歌会 IN ひらかた」として集まるようになりました。

メセナひらかた、ラポールひらかた、コミュニティー喫茶「ラ・テール」と、会場を時に変えながら、三年間ミニ歌会を続けました。しかし、子育てが一段落すると、仕事、家族の病気や、介護等。女性にとって、「自分の時間」を楽しむことは、なかなか難しいようです。参加者が減り、ちえこさんと二人だけになり、2008 年 3 月に活動を休止しました。

☆五行歌ひらかたミニ歌会メンバーの作品

疲れた心と体に
そよ風が話しかける
元気を出しなよと
ポケットに入っている幸せの種を
一緒に数えようと

えみこ

月がきれいって
「I love you」のことやって
へえ～
漱石さん
粋ななあ

ちえこ

作品展示のチラシから、仲間が増えて……。

ところが、メセナひらかたの「ウィル・フェスタ」での作品展示のチラシを見た方から「参加したい」と連絡をいただき、それをきっかけに活動を再開。口コミ等で仲間が増えてきました。「書くことで、自分がはっきり見えてくる」。「作品を通して、参加者のみんなと深い気持ちのやりとりができる」等、メンバーの感想も様々です。この 2 月までに通算 33 回のミニ歌会を開催、18 人（延べ 118 人）が参加しています。

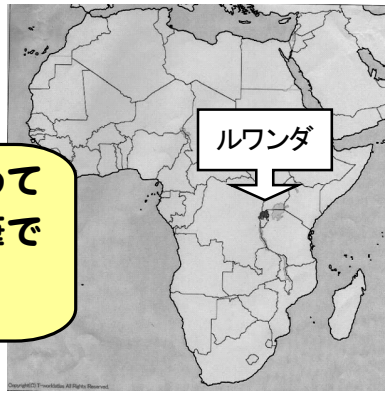
「五行に書けば、それでいい」。自由度の高い五行歌は、誰にでも親しめる一方で、やればやるほど奥の深いすぐれた表現の器です。おしゃべりが大好き！という方は、そのおしゃべりをそのまま書けば、OK。いつでもどこでも、ちょちょっと書いて、楽しめます。

ご興味を感じられたあなた！　私たちと一緒に五行歌を書いてみませんか！？　お気軽にご一報、見学に来てみてくださいね！

✎ 五行歌ひらかたミニ歌会　桑本明枝

☆毎月一度月曜日午前 10 時半～12 時、メセナひらかた三階諸活動室で集まっています。
参加費は、プリント代実費（百円程度）。作品は事前投稿、欠席投稿も大歓迎です。
詳しくは、akkie.toyotaka@kud.biglobe.ne.jp または、090-5893-5635 （とよたか）までお問合わせ下さい。☆

アフリカ ルワンダの 子どもたちから 絵のてがみ届きました



生まれてはじめて
白い紙に色鉛筆で
描いたよ！

「おはなしキューピット」として、私たちは、枚方市内の小学校で「朝学習」の時間に絵本やお話の読み聞かせをお届けしています。そんな活動の中で、市立田口山小学校の子どもたちとアフリカ・ルワンダの子どもたちが交流を行いました。

ルワンダでは、私たちが「国際語」だと思っている英語も通じません。

そんなルワンダから、子どもたちが白い紙にはじめて描いた絵が届きました。日本の子どもたちからは、ルワンダのことを描いた絵本や絵が送られました。

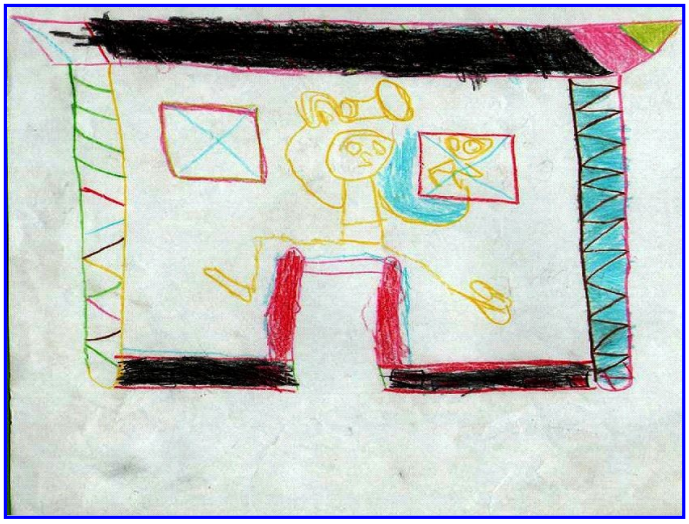
アフリカのことを描いた絵本や昔話をルワンダの子どもたちに届け、同時に、日本の子どもたちが世界の多様な文化をカラダで感じてほしい！　と私たちは願っています。

3 月 12 日から 14 日、京都市美術館で開かれた「第 33 回児童画国際交流展」（主催・The PASS：児童画の国際交流を進める画塾協会）にも、ルワンダの子どもたちが描いた１０５点の絵が展示されました。

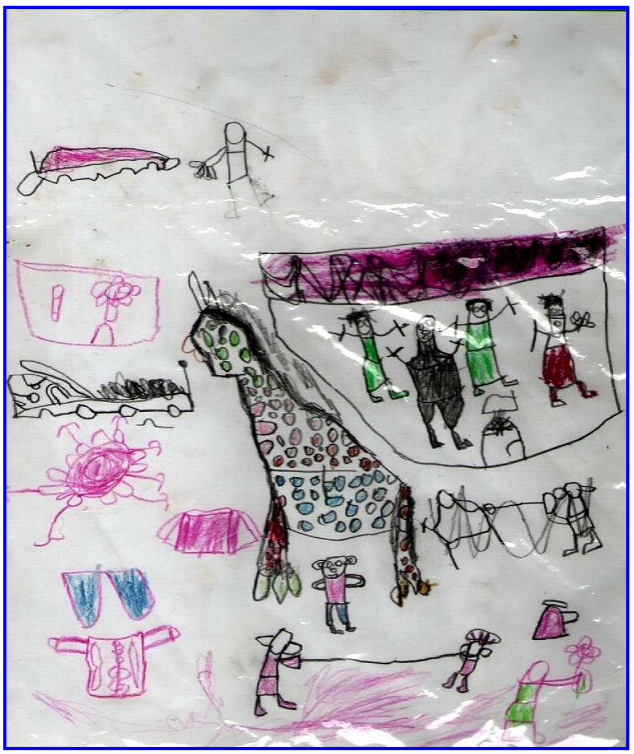
＜作品の紹介＞

ルワンダはアフリカの中央に位置する小さな国です。1994 年ジェノサイドが起こり、たくさんの人々が殺されました。今回描いてくれた子どもたちはその後生まれてきた子どもたちです。

ルワンダからの絵を紹介します。



No.2009－8 ぼくのうち



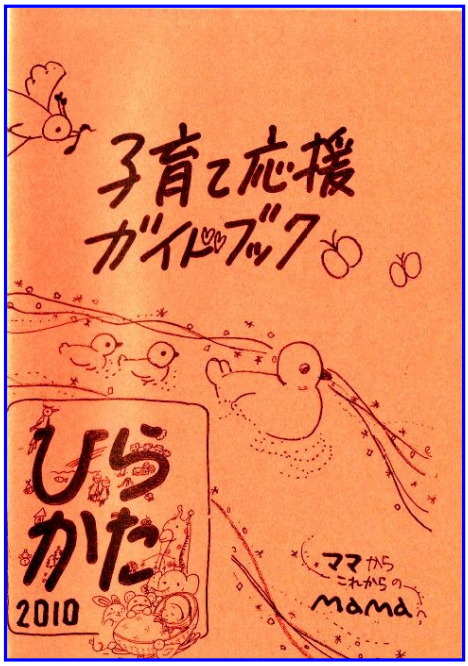
No. 2009－12 はじめてかいたよ

おはなしキューピット・
こどもアトリエピュアランド　井上良子
＆　ルワンダ青年海外協力隊　清水千絵

大丈夫！　あなたの子育て、みんなで応援しているよ～！！

枚方市内諸団体のネットワークで、「子育て応援ガイドブック」を発行

育児中や妊娠中のお母さんたちに、応援と安心のメッセージを届けたい……！　そんな願いをこめて、「子育て応援ガイドブック　ひらかた2010」が生まれました。オレンジ色の表紙、「ママからこれからのＭａＭａへ」と副題のついたＡ５判 40 頁の小冊子には、医師や保育者はじめ地域で子育て支援に携わる人たちの思いや、お役立ち情報が満載されています。



小冊子を発行したのは、「ひらかた子育て支援ネットワーク」。枚方市内で子育て支援に携わる 16 団体からなるネットワークです。「三年前の『子育て応援ビッグフェスタ』の際に発行した小冊子の作成メンバーを中心に広く呼びかけて、助成金を得て、新しく小冊子を作ることができました」と、同ネットワークのまとめ役の中谷章代さん（ＮＰＯ法人・ハートネット）。昨年四月から二ヶ月に一度集まって編集会議を開き、二月に完成。皆で印刷製本の作業を行って千部発行した小冊子は、必要とされる人々のもとにこれから届けられます。「子育ては、本来楽しいもの。一人で抱え込まず、気軽に支援の扉をたたいてもらえたら……。ここに載っている情報を活用してくださいね！」小冊子についてのお問い合わせは、電話：072-805-4373（ＮＰＯ法人・ハートネット）までお寄せください。

✎ 市民ライター　豊髙明枝

耳寄り情報♪　京阪バス　１ｄａｙ　チケット（大阪版）

皆さんは、京阪バス（大阪版）１ｄａｙチケットをご存知ですか？

私も恥ずかし乍ら半年前に、仕事（ガイドヘルパー）で、移動支援の利用者を引率した際に気づきました。一部区間を除きますが、大人￥５００、小人￥２５０で１日乗降自由なお得なカードです。（但し、障害者割引適用外）

私は、このカードを用いて１日利用してみました。（右表）

私の１日の使用例

三栗府営住宅前～枚方市
枚方市～香里園
香里園～寝屋川市
寝屋川市～守口市
守口市～吹田
吹田～守口市
守口市～鶴見緑地
鶴見緑地～守口市
守口市～大和田
大和田～四条畷
四条畷～寝屋川市
寝屋川市～茨木
茨木～枚方市
枚方市～三栗府営住宅前

通常料金　　￥３３５０
バスカード　　￥５００
　　￥２８５０　お得♪

１日に３回以上乗るなら、このカードはお勧めです。南は吹田・鶴見緑地、北は京都府八幡市の一部や京田辺市の一部まで使えます。実は、平成 17 年から売られていたそうで、私はプライベートでも、仕事でも、重宝しています。お求めは枚方市駅・樟葉駅・香里園駅や、京阪バスの車内でも売っています。駅では路線図ももらえます。

ちょっとしたバスツアーにいかがですか？

✎ 松瀬（ＬＩＰ編集局）

枚方の「共に学び共に育つ」教育は今 (4)

これまで、障害のある子もない子も、地域の普通学校で「共に学び共に育つ」教育を大切にしてきた枚方市。ところが今度、初めて支援学校（養護学校）がつくられることになり、議論を呼んでいます。今こそ、枚方が育んできた「共に学ぶ」ことの意味を問い直したい―。市民に思いをききながら、考えます。

今回は、本紙の隔月連載エッセイ『もぐらの目』でおなじみ、鶴島緋紗子さんの登場です。鶴島さんは自閉症の息子さんと 48 年間、共に歩んでこられ、枚方自閉症児（者）親の会の代表もされています。

「共に学ぶ」って、どういうこと？―④

子どもたちの中で育ち合うのが人間の基本

さて、次の文章をご覧ください。1978 年、枚方市教育委員会と、枚方市同和教育研究会・枚方市教職員組合の間で交わされた「確認書」の一部です。

一、校区の子どもが校区の学校へ行くことは本来の姿である。したがって、「障害児」の教育も、基本的には、校区の学校で取り組まれることが望ましいと考える。
二、このような考え方で、市教委は就学指導を行う。その際、保護者の意向は十分尊重する。　（※）

このように枚方市では、教育委員会の基本方針として、障害のある子も校区の普通学校で学ぶのが望ましいという考え方を公に示しています。この方針は、「共に学び共に育つ」教育を大切にしたいと願う多くの保護者の声がつくってきたものです。

鶴島さんは、そうした保護者の先達のひとり。障害に対する理解がまだまだ進んでいなかった 1970 年代から、息子の芳樹さんといっしょに、地域であたりまえに生きる道を切り開いてきました。

■ 人から離れた場所ではなく ■

芳樹さんが「早期幼児自閉症」と診断されたのは２歳の時。自閉症の症例が初めてアメリカから紹介されたころで、わけもわからず、指示されるままに週１回、大学病院でケースワーカーと遊ぶプレイセラピー（遊戯療法）を受けるようになりました。

そのころ、若い医師から助言されたのが「なるべく早く、同じ年代の子どもたちの中で生活させてください」。そのことばがストンと胸に落ちます。

「息子は対人関係が苦手で、関わりをつくるためのことばが遅れている。それを覚えていくには、人から離れた場所ではなく、普通の子どもたちと自然に接する中で育ち合うのが基本だと思いました」

そこで、保育所や幼稚園を探しましたが、どこに行っても「面倒みれない」と断られます。最終的に受け入れてくれたのが、遠く豊中市にある幼稚園。

幼稚園で他の園児たちと共に過ごしていて、芳樹さんに現れた変化は目をみはるものでした。

「全員が並んでお遊戯をしていても、最初は全く列の中にも入らなかったのが、しばらくすると、自然にみんなと同じようにお遊戯ができるようになったんです。音楽会のカスタネット演奏なども、お友だちの真似をしてできるようになりました」

■ 人間社会はみんな千差万別 ■

やがて、小学校に上がる年齢に。普通の幼稚園で過ごしてきた芳樹さんには、近所の子どもたちが行く地元の校区の香里小学校に行くのは当然のことでした。ところが、市の窓口でそれを言うと、「いちど教育委員会まで来てください」。

息子の芳樹さんと共に、地域であたりまえに生きることにこだわってきた鶴島緋紗子さん

当時、障害のある子どもは、自分の住む校区から離れた場所にある小学校の特殊学級（現：支援学級）か、市外にある養護学校（現：支援学校）か、どちらかに行くものとされていたのです。

教育委員会に行くと、知能テストで検査され、鶴島さんが熱心に思いを話して、ようやく入学が認められます。そこで感じたのは、わずか６歳の幼い子どもに“特殊”“特別”というレッテルを張り、選り分けてしまおうとする人々の意識の壁でした。

その壁に、鶴島さんが問い続けてきたのは「いろんな人がいるのが社会」という単純な真理です。

「人間って、それぞれ一人ひとり個性があり、クセもあり、嫌な部分もあり、反対にいい部分もある。みんな千差万別の、一人として同じ人がいない人間社会で、どうして“障害児”という存在だけが選り分けられなければならないのでしょう」　（次回に続く）

文・写真/フリーライター・合田享史

※宮崎隆太郎著『障害児がいて見えてきた』（三一書房）から引用

かおりのひとりごと

かおりのひとりごと

野添かおり　枚方市在住。神経難病脊髄小脳変性症（の疑い）により、17歳の頃より車椅子生活。独自の感性によるたとえで言葉を紡ぎ、鋭いながらも柔らかさをもって斬り込むことを目指す。世の中を。そして自分自身を。

http://kaori-essay.seesaa.net/

「探そう」

誰だってきれいですっきりした環境で生きたい（ゴミ屋敷の住人のように、ごくまれにそうではない人もいるが）。

だから本当は知っている。周囲をきれいに保つ、「掃除」の大切さを。「環境保全」の大切さを。

だけどそれには、少なからず地味で目立つことのない努力がいる（掃除って地味で目立たないでしょう？　リサイクルって面倒だったりするでしょう？）。

だから多くの人はそれを嫌い、その“つけ”として汚く汚れた周囲にあたふたすることとなる。

ねえ。もしも今はそんな地味で面倒なものが、することでテンションの上がるものになったら？

好きな人の笑顔を生むものになったら？

やってみようと思うようになるんじゃない？

嫌じゃなくなるんじゃない？

そう。だから探そう。大切なものと知っているけれどそれが嫌われものなら、その「嫌い」が少しでも和らぐ方法、アイテムを。

そして広げよう。みんなでその大切なものを大切にできるように。

2009年度　ＬＩＰ活動記録

■2009年度にＬＩＰで紹介した団体や取り組み20・イベント情報83でした。新設置場所は5、応援団17団体・個人。また、長期シリーズの「かおりのひとりごと」や「アッキー28号」に加えて、川紀行・もぐらの目・共に学ぶ・簡単クッキング・作らずにはいられないなど、連載ができました。
■枚方市機関紙コンクールで“サークル・同好会部門”努力賞受賞。通算２度目の努力賞です。
■財政的には相変わらず赤字傾向です。継続発行のために、応援団や広告でご支援願います。
■2010年度もＬＩＰをよろしくお願いします♪

２００９年度　ＬＩＰ編集局　収支決算書

	収入の部					支出の部						
年月	広告代	縮刷版	応援団	助成金等	備考	郵送費	印刷費	封筒	名刺	その他	備考	
0904			5700			2560	5721			3000	ＮＰＯセンター会費	
0905	1000		2000			2800	5596					
0906		500		21900	イエローレシート	2560	27500	820		820		
0907		500	2500	1		3170	2260			1260	ラベル用紙	
0908			2000	1		2560	2320					
0909	1000		4000	1		2400	2280	996	1890			
0910	1000			1		2240	2330					
0911			4000	15701	イエローレシート フェスタ売り上げ	2380	5280	820				
0912	2000		4000	2		2300	4960					
1001			6000			3440	5280					
1002			5000	1		2640	8050	1196				
1003	6000	2000	3700	1		3080	5320					
小計	11000	3000	38900	37609		32130	76897	3832	1890	5080	年間収支	繰越金
合計	90509					119829					-29320	25568

イベント・サークル・ボランティア情報

＜ずは野田公民館
樟葉宮表参道商店会春まつり子ども一日店長

■４月２９日(祝)　１０時～１５時
■野田公民館前ちょこっとのバザーも同時開催
　自転車　ポン菓子　雑貨・衣料品等バザー
☆ちんどんのフンバルクイナも出演！
■雨天決行
＊問合せ：みんなでつくる広場　「ちょこっと」
TEL:080-4078-2802

【参加者募集】　アル問会　４月　＜定例会＞

　枚方アルコール関連問題を考える会（略称：アル問会）は枚方地域の市民活動団体です。
　アルコール関連問題を学習されたい方ならば、どなたでも参加できます。一般市民、アルコール依存症からの回復者、介護関係者、行政関係者、病院関係者、市議会議員、学生、宗教関係者、多彩な方々が参加されています。
■日時　４月８日（木）　18時30分～20時30分
■場所　枚方市地域包括支援センター　みどり
　枚方市岡東町17-31-201　松葉ビル　TEL 072-845-2002
■話題提供　新阿武山病院　アルコールソーシャルワーカー　坂本　満　氏
■参加費用　100円
＜今後の定例会予定＞
　5/13(木)　あすなろ総合法務事務所　認定司法書士　特定社労士　亀井　晃　氏
　6/10（木）　枚方交野民主商工会　樺井　良祐　氏
連絡先　090-5167-4600（医療ソーシャルワーカー 菊地）
＊詳細は上記連絡先まで、お気軽にお問い合わせください。

☆「憲法改正と国民投票法」について☆

■日時：２０１０年４月１７日（土）　午後２時～４時
■場所：ゆうゆうセンター　２階　体験学習室
　（ＪＲ河内磐船駅歩２分または京阪河内森駅歩６分）
■講師：中北龍太郎弁護士
■参加費：５００円
■主催：憲法とくらしを考える会
※連絡先：072-821-9696（辻）

５月の「憲法改正国民投票法」施行を迎えるにあたり、学習会をします。どのような法律なのか、再検討すべき点はないのか、中北弁護士から解説していただきます。

映画『銀の鈴』（沖縄学童疎開船「対馬丸」事件）上映会
ー生き残ってからが本当の戦争だったー

　１９４４年８月２２日学童疎開船対馬丸はアメリカの魚雷攻撃を受け１４１８名とともに海中に沈んだ。生き残った者には、『緘口令』が敷かれ沈没の事実を話すことが許されなかった。戦後６５年たち、語らずにはおれない生存者たちが制作費をだしあっての自主制作映画です。沖縄戦の真実を伝える映像として学校上映も是非ご検討ください。
■４月１０日（土）①１１時～　②１４時半～
■メセナひらかた（京阪「枚方市駅」下車５分）２階ホール
■入場料　一般　前売り　１０００円　当日１３００円
　６５歳以上・障がい者・小学生以下
　前売り８００円　当日１０００円
■後援　枚方市
■連絡先　NPO法人遊びりテーションわくわく枚方
　岡 TEL 072-805-0901　FAX予約可072-850-8850

【参加者募集】放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」

　うちの子って……。学校では、落ち着きがない、ぼんやりしてるなど、気がかりな様子。おうちでは、かたづけない、わがままを言いはる、お友達と遊べないなど、また気がかり……。一体どうしたらいいのかなぁ……？
　元小中学校教員を囲んで、助言をもらいながら、お母さん同士自由に語り合う場です。
■2010年度活動予定：4/14, 5/12, 6/2, 7/7, 9/1,
　10/6, 11/10, 12/1, 1/12, 2/2, 3/2
　月１回水曜日　10：30～お昼過ぎ（出入り自由）
■場所：サプリ村野内元留守家庭児童会室（プレハブ教室）
■参加費：無料
■問合せ：c-k@love-dugong.netまたは、
　090-5893-5635（とよたか）
★予定変更の場合があるので、必ずご連絡下さい。

♪♪ じんじん祭り　遊びに来てね ♪♪

＊日時：４月１１日（日）　１０時半～１５時
＊場所：岡本町公園（ビオルネ前）
＊子どもたちが生き生きと遊べるまつりです。子どもの出店・出演・企画、大歓迎！
＊手作り遊び、伝承遊び、集団遊びなど得意な方、コーナーを手伝ってください。
＊問合せ先：佐藤（TEL/FAX 072-868-3867）

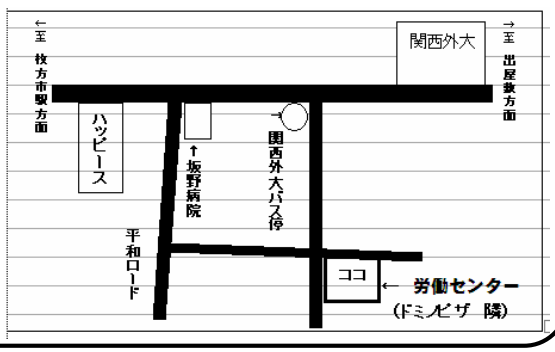
障害者労働センター
♪WELCOME♪
リニューアルオープン！

フリーマーケット開催♪
２０１０年　4月5日　１０：００～１６：００
問合せ：枚方市中宮山戸町 10-12-101
TEL 072-848-0508（障害者労働センター）

障害者労働センターは、２０１０年　３月２９日（月）　にリニューアルオープンします！新しくなったお店を皆様、是非一度見に来てください。

４月５日（月）にはフリーマーケットも開催決定
せっけん商品、化粧品、手作り商品、衣服類、小物　などを販売します。思わぬ掘り出し物があるかも！

１０００円以上お買い上げのお客様に、プレゼント券をお渡しします。皆様のお越しをお待ちしております♪



LIPは、次の場所に置かせていただいてます。

枚方市

☆　各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
☆　枚方市ボランティアセンター　［ラポールひらかた内　072-841-0181］
☆　北河内ボランティアセンター　［磯島茶屋町 20-1-101　072-848-4166］
☆　子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた　［招提南町 2-50-1　072-850-4400］
☆　コミュニティーカフェ ラ テール　［西禁野 1-3-27 禁野口バス停前　072-848-0418］
☆　NPO法人 りりあん　［長尾元町 6-39-15　lilian@kcat.zaq.ne.jp］
☆　婦人洋品店 シャルム　［南楠葉１丁目 2-16 くずは公民館向かい　072-850-1362］
☆　喫茶 Dik Dik　［岡本町 8-17　072-846-5377］
☆　たこやき・おこのみ けんちゃん　［大峰南町7−1スーパーワカバ内　072-859-4155］
☆　街かどデイハウス 藤阪愛逢　［藤阪元町 2-27-1　072-855-6978］
☆　泉屋 楠葉店　［楠葉並木 2-2-2　072-868-3060］
☆　身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ　［堤町 2-1-103　072-861-6360］
☆　京阪総合会計事務所　［西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301　072-805-5252］
☆　ヘアーサロンかわむら　［長尾東町 3-1-4　072-859-1601（予約優先）］
☆　ソーイングの店 みなよし　［香里ヶ丘 3-11-3-4　072-854-0756］
☆　喫茶&アンティークショップ Squirrel（スクワーラル）　［宗谷 1-1-1　072-859-2475］
☆　枚方市地域包括支援センター社協こもれび［南楠葉 1-30-1 エクセレント辻ビル 203 号室　072-856-9177］
☆　割烹 千鳥　［岡東町 12-13 ひらかたさんぷらざB1F　072-843-8114］
☆　WAVE34（ボウリング場）　［田口 4-11-8　072-848-0450］
☆　ヘアースタジオぱぺぽ　［南楠葉2丁目 4-3　072-850-9070］
☆　枚方市役所（市民活動課・環境総務課・人権政策室）［大垣内町2丁目 1-20　072-841-1221］
☆　(財)枚方市文化国際財団［岡東町 8-33 市民会館内　072-843-1122］
☆　食育ステーションまきの［牧野本町2丁目 19-2　072-397-2111］
☆　社会福祉法人 心愛　心学塾作業所［大峰元町1丁目 21-5　072-859-9194］
☆　紅茶専門店VIE［南楠葉 1-1-34　072-856-2355］
☆　shot bar カボチャソース［牧野下島町 14-22　072-809-7676］
☆　ポパイ商店［山之上2丁目 16-9　072-846-7232］
☆　NPO法人ハートネット［星丘 1-20-8　072-805-4373］
☆　クッキー工房おれんじはうす［交北3丁目 3-10　072-856-8378］
☆　全労済大阪府本部 共済ショップ枚方［大垣内町 2-10-4 宮村第三ビル 3F　072-804-5550］
☆　健康・福祉プラザ 助さん・たくさん［大峰元町 1-1-1　072-858-8565］
☆　エステのお店 ジョセフィンいじま［牧野阪 1-23-5 牧野駅前デパート 2F　072-851-8727］
☆　陶器食器のお店 a new sprout［堤町 2-14　072-846-9550］
☆　雑貨／カフェ ルポ・デ・ミディ［堤町 10-12　072-843-1525］
☆　マイウェイひらかた ワーク草笛［藤阪天神町 3-1　072-808-2031］
☆　ミュージック・ケアハウス「花音」［川原町 3-1 クラウンビル4階　072-841-8822］
☆　たかはま歯科医院［津田駅前２丁目 17-1-108　072-896-1180］
☆　渦潮ベーカリー楠葉店［町楠葉 1-30-6　072-856-5420］
☆　枚方市野外活動センター［穂谷 4550 番地　072-858-0300］
☆　社会福祉法人くにみ会「清水園」［津田 873-2　072-896-1600］
☆　輝きプラザ「きらら」［車塚 1-1-1］
☆　三代目たくちゃん ピーコ　［牧野阪2丁目 7-30　080-3785-1728］
☆　MIKIHOUSE キャラメル［牧野阪 2-9-15-105　072-857-6626］
☆　株式会社 丸天酒店［牧野阪 2-5-23　0120-39-7003］
☆　NPO法人パーソナルサポートひらかた［中宮山戸町 10-12-105　072-848-8825］
☆　自閉症療育センター Link　［岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階　072-841-2411］
☆　MogaJogaDining 枚方宿［堤町 2-15 072-846-3535］
☆　bar moonshine　［宇山町4−8　072-866-5667］
☆　(社福)やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ぱぴるす［大字尊延寺 2200　072-859-0245］
☆　ぷらっとホーム・すがはらひがし［藤阪東町 3-1-11　072-859-5005］
☆　とくふうホーム［大字尊延寺4592−24　072-858-4058］
☆　音楽療法スペース　ウッドヴィレッジ［牧野下島町 9-12　070-857-3540］
☆　Live Space むじゃき［新町 1-3-17 2F 京阪ジャズ協会内　072-396-6286］
☆　みんなでつくる広場「ちょこっと」［楠葉野田 2-30-8　080-4078-2802］
☆　スパパレイ枚方南　［津田山手１丁目 24-1　072-808-4126］
☆　本とカフェ Benedetta　［町楠葉 1-6-25 寺山ビル2F　080-6115-8133］

New!

New!

そのほか

☆　寝屋川市立市民活動センター
☆　フレッシュベーカリー ラッキー［寝屋川市早子町 18-1　072-821-0413］
☆　寝屋川市立ふれあいプラザ香里［寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園店 1F　072-835-3335］
☆　ヘアーサロンおおまち［交野市私部 3-17-2　072-891-5024（予約優先）］
☆　たこやき屋 中角［交野市倉治3丁目 52-1　072-891-4022］
☆　レストラン ジュリア［交野市私部3丁目 11-3-2　072-891-2288］
☆　NPO法人 ゆいむ（結夢）［交野市私部7丁目 12-58　072-810-7880］
☆　作業所クローバー［交野市郡津5丁目 9-3　072-894-4822］
☆　えんでら村作業所［交野市天野が原町2丁目 14-20　072-893-4890］
☆　小規模通所授産所施設 ミルキーウェイ［交野市天野ヶ原町2丁目 14-20］
☆　交野市役所 市長公室［交野市私部１丁目 1-1］
☆　きさいち植物園ファンクラブ事務局［交野市私市 7-19-14　072-894-0840］
☆　わくわく科学館［交野市私市 6-10-2　080-3819-7292］
☆　龍谷大学 深草学舎ボランティア・NPO活動センター［京都市伏見区塚本町深草 67　075-645-2047］
☆　むく福祉会 ワークホーム れっつ［綴喜郡宇治田原町贄田船戸 38-1　0774-88-5846］
☆　宇治田原社会福祉事務所［綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2　0774-88-2394］
☆　福山すこやかセンター内 ボランティア活動センター［福山市三吉南 2-11-22　084-928-1346］
☆　ベビーフェイスプラネッツ松井山手［八幡市欽明台北1 ソフィアモール内 075-982-3271］

移動配布所

☆　フンバルクイナ音楽隊 ―出前出張音楽隊―［funbal@mail.goo.ne.jp　090-6055-8312］

いつも応援ありがとうございます！

ＬＩＰ応援団

川口睦子さん　村田幸子さん
子どもをみつめる市民の会

ＬＩＰを継続して発行していくために、ＬＩＰ応援団を作りました。一口２０００円です。応援団員には以下の特典があります。
☆ＬＩＰ裏表紙に応援団員のお名前掲載！（希望者のみ。匿名も可です）
☆ＬＩＰの郵送サービスします！
１口で１年間郵送します。
（希望者のみ。複数部数も歓迎です）
■郵便振替 00920-8-120259（LIP 編集局）
■連絡先：lip@love-dugong.net

ＬＩＰ会計報告（前号以降）

金額(円)	内容
24388	前号から繰り越し
1500	縮刷版販売
1	銀行利子
9000	応援団／寄付
▼2640	郵送代
▼3320	３月号印刷代
28929	計（次号へ繰り越し）

★「もぐらの目」　作者の鶴島さんのところへ、感想のお葉書が届いたそうです。以下に書き写させていただきました。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

白木蓮と紅の桃の花が隣合わせに満開でおめでたい庭を眺めながら「もぐらの目」読ませて頂きました。
「みんな」の始まりは「わたし」なのです。に、感動！
一人の「わたし」になれるように、ささやかにがんばりたい……
次回を楽しみに。

さおり織り作家　安益縫

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

★安益縫（あや・ぬい）さんは、寝屋川在住のさおり織の作家でニューヨークで毎年個展を開いておられる方なんだそうです。ありがたいことです。
★今月号では、「枚方の『共に学び共に育つ教育』は今」にも鶴島さんが登場されています♪（w）

表紙イラスト：平井由恵